



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和7年2月号(第12号)
令和7年1月31日発行

【学校教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心をもち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

喜んで登校 満足して下校

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かかわりあいを大切にする子

校歌の音階の謎

校長 藤田 昌一

年が改まりましたが、開校95周年の年度にちなんで、校歌を取り上げたいと思います。

私が教師になって最初に赴任したのが、(浦和市立)常盤小学校です。当時は、校庭で始業式が行われ、1000人を超える児童が歌う、元気で明るい歌声を聞いて、常盤小学校の校歌が大好きになりました。

常盤小学校を転出した後も、当時の職員との親睦会が毎年のように催され、会の締めには、出席者全員で常盤小学校の校歌を歌って盛り上がっていました。

*

本年度、約30年ぶりに常盤小学校に戻って驚いたことがあります。それは、当時歌っていた校歌と音階が一部異なっていたことです。地域や保護者の皆様の中にも、違和感がある方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

胸をはり あしなみそろえ 行け 行く 行くぞ

当時の音階のイメージ ♪

そ
ろ
あ し な ~
み え -

現在の音階のイメージ ♪

そ
ろ え -
あ し な ~
み

平成4年に出版された『浦和の校歌』という本には、左側の楽譜が掲載されています。また、当時の音楽担当の先生に聞いてみたところ、左側のように歌っていたのは間違いありません。しかし、現在、本校で使われている楽譜は、右側のようになっています。昭和54年に発行された開校50周年の記念誌にも、右側の楽譜が掲載されているので、オリジナルは今の歌い方なのだと思います。

それでも、私は、左側の歌い方がしっくりきます。「あしなみ」が、「そろえ-」で音が下がり、そこから「行け 行く 行くぞ~」と盛り上がっていくからです。

*

昭和から平成の一定の期間、音階が違っていたのはなぜか？

いつ、現在の音階(歌い方)に戻したのか？

私の在職中に謎を解明したいと思っておりますので、このことに関して、皆様から情報をお寄せいただけますと助かります。よろしくお願いいたします。